

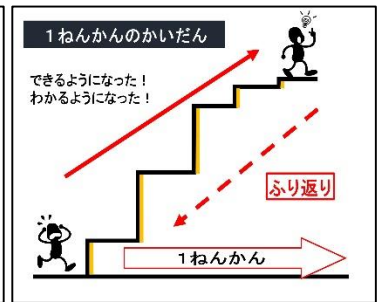
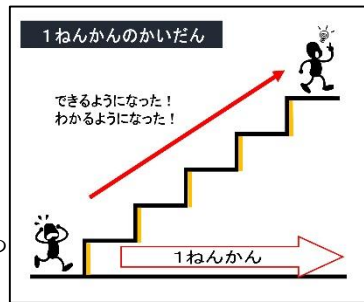
## 子どもたちの決意を感じる新学期



本校3年目となります。校長の 宮邊 淳一（みやべ じゅんいち）です。今年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

明日、4月12日に81名の新入生を迎え、令和4年度は、全校児童507名でスタートします。

始業式では、『気づき・考え・実行する』を合い言葉に今年がんばっていこう、ということをお話しました。1年間は、階段を1段ずつ上っていきながらゴールにたどり着くようなもの。しかし、階段の高さは一人ひとり違うから、自分の高さや、友だちの高さに気づきながら、「できること」「わかること」の素晴らしさを友だちと一緒に味わいましょう。そんなお話でした。



下は、始業式の中で今年度の目標を語ってくれた6年生の言葉です。

6年生になってがんばりたいこと

6年 郡山 兼一

ぼくが6年生でがんばりたいことは2つあります。

1つ目は委員会活動です。6年生は、下級生のお手本として学校を引っ張る立場になります。ぼくは東小を、笑顔でいっぱい、明るい学校にしたいです。そのために、委員会活動の時間には、初めて委員会に参加する5年生のお手本になるように、話の聞き方を意識したり、自分の意見を積極的に発表したりしたいです。また、学校全体に向けて、みんなが笑顔になるような取り組みを考えたいです。

2つ目は勉強です。6年生では、新しく歴史の学習が始まります。5年生の国語の学習で、偉人調べをしました。そこで、歴史上の人物を、もっと調べてみたいと思いました。だから、習ったことを自学ノートにまとめたり、知らなかったことを自分で調べたりして、たくさんを知りたいです。

学習中でも、それ以外のときでも、東小のお手本となり、みんなを引っ張っていける6年生になれるように頑張ります。



年度はじめにいつも思うことです。登下校時の姿からは、新年度にかける子どもたちの「決意」が伝わってきます。「今年度はこんなことができるようになりたい。」「友だちをたくさんつくろう。」様々な思いで学校の門をくぐっているのだろうと思います。そんな子どもたちの姿を見ながら、1年間この新鮮な気持ちが、実現できるよう、支援していかなければならないと思っています。

階段の高さは子どもたちにとって未知なものなので、「あとわずか」というところで登ることをあきらめてしまったり、挑戦することを断念したり、そんな思いにかられることもあるでしょう。だからこそ、ふり返しを行うことの大切さを伝えつつ、認め、はげましながら歩み続けたいと思います。

ご家庭では、お時間の都合が許される限り、お子様から、その日1日の様子を聞いてあげてください。本年度も引き続きよろしくお願いいたします。